

出東小学校 地域学校運営理事会だより

令和8年3月 出雲市立出東小学校

ごあいさつ



副理事長 中間 敦司

卒業や入学など新たな生活が始まっていく春を迎えています。小学校を卒業する6年生は中学校へと進学し、小学校に入学する子どもは、改装された体育館での初めての入学式を迎えようとしています。

年度末にあたり、出東地区社会福祉協議会として学校行事に取り上げてもらっていることをすこし紹介したいと思います。

6年生とは、夏休みに出東こども園での保育体験でかかわっています。こども園の保育士さんの指導のもとで、自分の弟や妹の年代の園児といっしょに遊んだり、時には水泳の模範を披露したりします。小さな園児たちに、思いやりをもって接してくれています。

4年生とは、大豆の栽培でかかわっています。自分で初夏に種をまいて、秋には収穫し、冬に豆腐づくりをして、みんなで食べます。

1年生とは、芋ほりや地域のお年寄りの方と昔あそびをとおして、交流をする機会があります。

1年生の時には、はじめて握ったえんぴつを使い、不慣れな手つきで一生懸命に絵や文字を書いていた子どもたちが、6年生になると保育体験の感想を紙面いっぱい書いてくれるのを見て、子どもたちの成長に驚かされています。これからも子どもたちに新たな出会いや体験を提供しながら勉学やスポーツに励んで成長していく子どもたちを見守っていきたいと思います。

第3回 地域学校運営理事会

2月6日（金）、お忙しい中、理事の皆様にお集まりいただき、第3回地域学校運営理事会を行いました。

今年度も、多くの公開授業、運動会や学習成果発表会、総合的な学習の時間や生活科の活動の様子を見ていただきました。この日は残念ながら学級閉鎖の影響で、授業を見ていただくことは叶いませんでしたが、この1年を通して、子どもたちがふるさとの「ひと・もの・こと」にふれたり、目を輝かせて学んだりする様子を見ていただきました。本年度最後となる第3回理事会では、「ある日、どの子どももなんだかうれしそうに登校する日があって、こちらの方がうれしくなった」という感想もいただき、子どもは地域の宝物だということを実感しました。そして、すくすくと育つ子どもを共に見守ること自体が地域コミュニティの原点だと考えました。そして、理事会では、学校評価の資料などを基に、率直なご意見や温かいお言葉をいただきました。次年度の学校運営に活かしていきたいと思います。

（地域学校運営理事会事務局：教頭 勝部 孝）

<地域、外部講師さん、学級の友達との交流活動・学習活動（図書館教育）>

1年生 昔の遊び体験（おはじき、あやとり、けん玉、お手玉、めんこ、こま回しなど）



2年生 しじみ漁体験

3年生 しめ縄作り体験



4年生 大豆の学習

5年生 研究授業（国語科・図書館活用教育）

6年生 平和学習



1～6年生 PTA思い出作り教室（～こーたさんと一緒に書道パフォーマンス～）



低学年防犯教室

げんき学級 他校との交流学習

1～6年生 ソーシャルワークトレーニング



本校は、学校経営の重点に「進んで学ぶ子」「やさしい子」「元気な子」「ふるさとを愛する子」を育てることをあげています。上記の様々な教育活動の中で、子どもたちは、地域の「ひと・もの・こと」にふれ、実体験に根差した体験活動・交流活動を通して、ふるさととの「つながりやあたたかさ」を実感し、「自分は誰にも大切にされている」という思いを深めています。そのふるさとに対する「愛着・誇り」は、きっと、「未来に生きる自信」「未来への意欲」となって生きる力を育んでいくことでしょう。そんな機会を与えてくださっている地域の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。（校長）